

(1) 工事コストの低減

④技術開発の推進

機械攪拌に噴射を併用した地盤改良工法

阪神高速道路公団

島屋第6工区土留壁設置工事

【施策の概要】

開削トンネルにおける地盤改良工に交差噴流式複合攪拌工法を採用することにより、1本当たりの改良径が大きくなり、改良速度も早く効率的な施工となる。また間詰部分についても特殊工法を用いることなく、経済的な施工が可能となる。

島屋第6工区土留壁設置工事では、交差噴流式複合攪拌工法を採用することにより、施工効率の向上を図り、工事費を縮減している。

【施策のポイント】

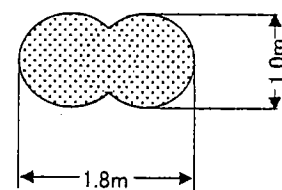
- ・従来の機械式攪拌工法に比べて、容易な施工でソイルセメントブロックを形成できる。
- ・交差噴流を噴射・停止することによって、任意の深さで改良体の径を変えることができ経済的である。
- ・これにより、本工事において従来の機械式攪拌工法での施工に比べ、約10%の工事コストの縮減が図られました。

【施策の実施状況・イメージ図】

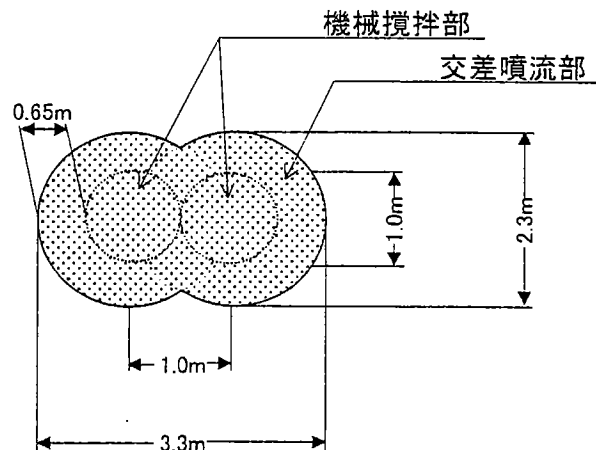
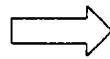
【従来】

【改善後】

従来の機械式攪拌工法による断面



$A_p=1.5m^2$



$A_p=6.38m^2$